

経営力向上計画による設備投資で 高付加価値製品を生み出す

課題

設備投資のための 資金調達に課題

伸栄工業株式会社は、京阪神地域への交通の利便性に優れた京都府南部に位置している。創業者が築いた回路基板試作事業から派生し、現在は2代目が新素材（FRP：炭素繊維強化プラスチック）の加工技術・生産体制を強化すべく、量産化に向けた事業計画を歩み始めている。

同社は長年にわたる蓄積で、顧客との信頼関係を構築してきたが、一部の取引先が量産部門を海外へ移転させたことなどから、受注から試作に主力事業が偏るようになってきた。こうした事情も背景に、近年資金調達に課題を抱えてきた同社では、設備投資も停滞。受注量を大幅に増加させることが難しい状況となっていた。

一方、東京オリンピックに向けたロボット開発に係る関連部品、スポーツ競技の装着物などのニーズが徐々に高まり、顧客からの新たな需要が出始めるようになってきた。高度な技術力を上げる必要性を意識するようになった代表は、事業承継でも関わりがあった京田辺市商工会に相談を行った。

支援

人材育成プログラムと補助金で 黒字化を達成

資金的な問題から取り組みを躊躇していた設備投資に向けて、商工会はまず、経営力向上計画の策定支援に着手した。

さらに、これと並行して代表は、ものづくり補助金への申請を見据え、金融機関に対しては、借入れの相談を重ねた。

商工会では、進捗状況を確認しながら、適宜アドバイスを交え、ともに申請内容の深掘りを行ったことで採択の結果を受けた。さらには金融機関からも融資に向けて前向きな回答を得ることができた。設備投資は平成30年秋に実施。代表が自ら機械操作の社外研修を受講、順次、現場実習を経て、従業員も参加する予定である。

代表は一昨年に商工会主催の人材育成プログラムへ参加、各種セミナーへの受講で、補助金申請の過程においても社内で情報共有を図る仕組みが確立できたことから、次なる目標に、「知恵の経営報告書」への取り組みを掲げて作成、京都府から認定を受けることができた。借入の額面は大きいものの、直近の決算状況では、営業利益を黒字化に転じることもでき、受注増加による人員不足を全体で補っている。



同社設備の4軸加工機

人材育成においては、定時のミーティングを行い、工程のスケジュール管理を徹底させている。以前は、一工程の担当制を敷いていたが、関連する一部を他工程の担当者が担えるよう、体制を整備することもできるようになった。

今後は、社員一同がさらに個々の技能に磨きをかけ、これを発揮、高付加価値の製品を世に送り出し、業績向上の道筋をつけることに期待がかかる。

支援の経過

期間	支援内容
H28年9月	知恵の経営ステップアップ事業補助金の遂行支援
H29年9月	人材育成事業への取り組み開始
〃	経営計画書の策定支援
H30年4月	経営力向上計画の申請支援（認定）、ものづくり補助金の申請支援（採択）
6月	知恵の経営報告書の作成支援（10月承認）

会社概要

会社名：伸栄工業株式会社
 住所：京都府京田辺市打田宮前99
 電話番号：0743-79-0078
 URL：http://team-salt.jp
 代表者名：榎田未央
 創業年月：昭和60年
 年間売上高：6500万円(平成29年)
 従業員数：6名
 商工会名・担当者名：京田辺市商工会・仲野由布